

# 第1学年〇組 道徳科学習指導案

令和〇年〇月〇日（〇）第〇校時  
授業者

- 1 主題名 望ましい生活習慣
- 2 ねらい 凡事徹底することのよさを多面的に考える活動を通して、望ましい生活習慣を身に付けることが人としての成長に深く関わっていることに気づき、自ら進んで規律ある生活を身に付けようとする態度を育てる。

教材名 「父の一言」（出典：彩の国の道徳（中学校）「自分をみつめて」 県教委）

## 3 主題設定の理由

### （1）ねらいや指導内容について

「望ましい生活習慣を身に付ける」とは、それを行うことで心身の健康の増進を図ることができる行為を、日常の生活において日々繰り返すことによって、殊更意識せずに行うことができるようになることである。「習慣は第二の天性」との言葉もあるように、その人の人となりに大きな影響を与えるものである。自己を保ち生きていく上で心身が健康であることは大切であり、食事・睡眠・運動の大切さについて改めて学ぶ必要がある。現代社会においては環境や生活様式の変化も大きく、情報機器の発達により若者の欲望や衝動を刺激するものも少なくない。自らの欲望や衝動の赴くままに行動してしまい、心身の健康を損ねることのないようにしなければならない。そのためには、そうした状況に至らない適度な程度としての「節度」を意識し、自己を統御する「節制」が求められる。節度と節制は、人間の感覚的な欲望の抑制を説いていると理解されるため、消極的に捉えられがちである。しかし、節度を守り節制に心掛けることは、望ましい生活習慣を身に付けることにつながっており、心身の健康を増進し、気力と活力に満ちあふれた充実した人生を送る上で欠くことのできないものであり、積極的に捉えるべき価値であると言えることができる。

指導に当たっては、まず現在の生活規律について振り返らせる。そして、本教材を用いた話合いを用いて、自身の現在の生活を重ね合わせ、望ましい生活規律を身に付けることが、人としての成長にも深く関わっていることに気づき、自ら進んで規律ある生活を身に付けていこうとする態度を育てたい。

### （2）生徒のこれまでの学習状況及び実態について

生徒は、小学校低学年で「健康や安全に気をつけ、物や金銭を大切にし、身の回りを整え、わがままをしないで、規則正しい生活をする。」中学年で、「自分でできることは自分でやり、安全に気をつけ、よく考えて行動し、節度のある生活をする。」高学年で「安全に気をつけることや、生活習慣の大切さについて理解し、自分の生活を見直し、節度を守り節制に心がけること。」を学んできている。

本校の生徒は、4つの小学校から中学校に入学してきている。とても素直で真面目な生徒が多く、周囲への気配りもでき、男女分け隔てなく仲が良い。班活動や係、委員会活動において、集団生活を円滑に進めていこうと協力して生活することができている。1学期に行われた体育祭では、1人1人が自己の役割を果たし、お互いに励まし合いながら積極的に取り組むことができている。また、日々の生活や行事を通して人間関係を築いたり、基本的な生活習慣を身につけたりすることはできている。一方、自分の考えに自信をもつことができず、積極的な発言を苦手とする生徒が多い。そのために自分の意見を言いやすい環境づくりや仲間の多様な意見に触れる機会を増やすために、道徳科の授業では、4人グループでの活動を取り入れている。

1 学期も終わりに近づいた頃から学校生活への慣れや夏休み直前ということで、今までできていたことができないことなど気の緩みを感じるがあった。2 学期以降、今まで以上により良い集団を築くために、望ましい生活習慣を見直し、規律ある生活を通して自らの生き方を正し、節度を守り節制を心がけさせたい。そして、単に日々の生活だけの問題ではなく、人生をより豊かにすることにもつながっていることに気づかせたい。

### (3) 教材の特質や活用方法について

本教材の主人公は、父に、「靴もそろえられないから試験でも点が取れないんだ」と言われ、自分に欠けていたものは何かを考え始める。この主人公の思いや気づきを考える活動を通して、ねらいに迫ることのできる教材となっている。望ましい基本的な生活習慣を身に付けることは、充実した人生を送る上で欠くことのできないものである。父の生き方とおして、身の回りを整えることなどを考える内容である。

中学生になり入学して間もない時期には、望ましい生活習慣を築いていこうとする気持ちがとても強い。しかし、日々の生活の中でやるべき事が増え、これまでに身に付けてきた基本的な生活習慣等を軽く考え、当たり前にできていたことなどが、つついとおろそかになりがちである。凡事徹底することのよさを多面的に考える活動を通して、今までの自分自身の生活はどうであったかを考えさせる。そして、これまで身につけてきた基本的な生活習慣や行動、物を大切にすること、望ましい生活習慣を身に付けることが、充実した人生を送る上で欠くことができないものであることを、生徒自らが考え、他者の意見を聞く中で深め、自身の今後の生活につなげられるようにしていきたい。以上のことから、本主題を設定した。

## 4 学習指導過程

段階	学習活動と主な発問	予想される生徒の反応	・指導上の留意点 ◇評価の視点
導入	1 「2 学期の目標」を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶などしっかりする。</li> <li>・当たり前のことを当たり前にやる</li> <li>・「凡事徹底」</li> <li>・完璧にできている人 ○人</li> <li>・全然できていない人 ○人</li> <li>・分かっているけどなかなかできていない人 ○人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体に質問をする。</li> <li>・なかなか言葉が出てこないようであれば周囲の生徒と確認させる。</li> <li>・「凡事徹底」の意味も確認する。</li> <li>・2 ヶ月以上経った今、どのくらいできているのか振り返らせる。</li> <li>・挙手で確認する。</li> <li>・本時の題材が、2 学期の目標を達成するためのヒントになる内容であることを確認させる。</li> <li>「外相整って、内相自ずから熟す」を掲示し、どんなことがヒントなのかを考えさせながら授業に臨ませる。</li> </ul>

展 開	<p>2 教材を読んで、話し合う。</p> <p>(1) 「そんなこと、関係あるわけじゃないか」と、父に言い返した時、「私」はどんなことを考えていたのだろう。</p> <p>(2) 父と顧問の先生は、「私」に何を伝えたかったのだろう。 (補助発問) ・父と顧問の先生の話で似ているところはどこか。</p> <p>(補助発問) ・どうして人は分かっているてもできないのか。</p> <p>(3) 父の生き方から「私」は何を学んだのだろう。</p> <p>(4) 当たり前の事を当たり前にする事（凡事徹底すること）で、どんな良いことがあるか。学校生活を振り返って考えてみよう。</p> <p>3 話し合ったことをもとに、自分の考えをまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・うるさい。</li> <li>・むかつく。</li> <li>・靴揃えとケアレスミスは関係ない。</li> <li>・おまえは当たり前の事ができていない。</li> <li>・当たり前なことはしっかりとすること。</li> <li>・小さな事からやるべきことをちゃんとやる。</li> <li>・自分の生活の甘さ。</li> <li>・面倒くさい</li> <li>・自分に甘えてしまう。</li> <li>・つい後回しにしてしまう。</li> <li>・小さな事の積み重ねが大切。</li> <li>・当たり前なことをおろそかにしない。</li> <li>・表面的なことをしっかりとやる事が内面の成長につながる。</li> <li>・学校生活が楽しくなる。</li> <li>・成績が伸びる。</li> <li>・部活動で技能が上達する。</li> <li>・人から信頼される。</li> <li>・面倒くさい気持ちや気の緩みから、やるべきことがおろそかになっていた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・範読する。</li> <li>・主人公の考え方や心の動きに注目させる。</li> <li>・範読後、4人グループにさせる。</li> <li>・「靴揃え」と「テストのでき」の関係⇔「あいさつや服装」と「テニスの上達」の関係が似ていることに気づいた主人公の気持ちを掘り下げさせる。</li> <li>・「外相整って、内相自ずから熟す」の意味を再度確認する。</li> <li>・「凡事徹底」することで学校生活も充実する。</li> <li>・個人の力が高まるとともに集団の力も向上することに気づかせる。</li> <li>・日々の継続が豊かな人生につながることの重要性を考えさせる。</li> <li>◇凡事徹底することの良さについて、多面的・多角的に考えることができる。</li> <li>・今日の授業を通して考えたことをまとめさせる。</li> </ul>
--------	---	--	---

	<b>自分に+1</b> <b>授業を通して考えたことをもとに、今日までの自分を振り返ってみよう。</b>	・ 凡事徹底することで様々な良いことがあると分かったから、これからは小さなことからちゃんとやりたい。	◇ 規律ある生活が自己の成長につながっていることを意識し、自分自身の今後の生活に活かそうとしている。
終末	4 学習のまとめをする。 ・ 教師の説話を聞く。	「微差、僅差の積み重ねが大差になる」 「平凡なことを非凡に努力する」 「帰ったら靴を揃える、自分のものだけではなしに家族のものも揃える、よそへ行っても揃えることです」 「汚い物を汚いままにしておいたら、もっと心がすさむ」 「銀行から頼まれて、倒産した施設をずいぶん買ってきました。けれども、いまだかつて、倒産した企業で、きれいに整然と掃除が行き届いていた会社はありません」	・ イエローハットの創業者である、鍵山秀三郎さんが書いた本を見せる。 ・ 本に書いてある言葉を紹介して余韻をもたせる。
	・ 振り返りシートを記入する。		・ 今日の授業の振り返りを記入させる。

## 5 他の教育活動との関連

事前指導	2学期始業式に配布した、学級通信で今学期の目標を確認。 自分の生活を振り返るアンケートを実施。
道徳科	望ましい生活規律を身に付けることが、人としての成長にも深く関わっていることに気付き、自ら進んで規律ある生活を身に付けていこうとする態度を育てる。
事後指導	望ましい生活習慣を見直し、きまりある生活を通して自らの生き方を正し、節度を守り節制に努めさせる。人生をより豊かにすることにもつながっていることに気づかせる。 道徳コーナーに生徒の考えを掲示する。
家庭との連携	本時の内容や授業の様子等（振り返り・感想）を学級通信で紹介し、家庭においても、望ましい生活習慣について話題にしよう。

## 6 評価の視点

【物事を多面的・多角的に考えている様子】

- ・ 4人グループで主体的に考え、他者の意見を尊重しながら話し合い、様々な考えに触れることで自分の考えを深めることができている。

【道徳的価値についての理解を自分との関わりで深めている様子】

- ・ 規律ある生活が自己の成長につながっていることを意識し、自分自身の今後の生活に活かそうと考えている。

7 板書計画

望ましい生活習慣

父の一言

イラスト

外相整って内相自ずから熟す

○父に言い返したときの私

- ・むかつく
- ・ウザい
- ・関係ない

○父と顧問の先生は  
何を伝えたかったのだろうか

父 靴揃え↓テストの点数

先生 挨拶や服装↓テニスの上達

- ・当たり前前ができていない
- ・当たり前前はしっかりやれ
- ・やるべきことをちゃんとやる
- ・自分の生活の甘さ

○父の生き方から学んだこと

- ・小さな事の積み重ねが大切だ
- ・表面的なことをしっかりとやること  
が内面の成長につながる

○凡事徹底すること

- ・学校生活が楽しくなる
- ・成績が伸びる
- ・部活動で技能が上達する
- ・人から信頼される

# 道徳科 ワークシート

1年 組 番 氏名 \_\_\_\_\_

教材名 「父の一言」

メモ



☆父の生き方から「私」は何を学んだのだろう。

<u>自分の考え</u>	<u>友達の考え</u>
_____	_____
_____	_____
_____	_____
_____	_____
_____	_____

## 自分に+1

☆授業を通して考えたことをもとに、今日までの自分を振り返ってみよう。

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_